

# 2014年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P.1
2. 業績のポイント(対前年)	P.2
3. 業績の状況	P.3
4. 主要製品売上の状況	P.4
5. 主な子会社の業績と予想	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.6
7. 開発品一覧	P.7~8
【参考資料】	
8. セグメント情報	P.10
9. 損益計算書の概要	P.11~12
10. 貸借対照表の概要	P.13
11. 主な業績項目の推移	P.14
12. 2014年3月期実績と2015年3月期予想	P.15
13. 杏林製薬(単体)資料	P.16~19

2014年5月9日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2014年3月期 決算概観(連結)

(単位:百万円)	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	前年比	15年3月期 (予想)	前年比
売上高	104,069	103,232	107,031	111,400	+4.1%	112,200	+0.7%
営業利益	16,443	14,464	17,948	17,607	-1.9%	15,800	-10.3%
経常利益	17,110	15,275	18,676	18,281	-2.1%	16,300	-10.8%
当期純利益	10,927	9,231	12,422	12,025	-3.2%	11,300	-6.0%
1株当たり 当期純利益(円)	146.21円	123.54円	166.25円	160.95円	-3.2%	151.24円	-6.0%
総資産	147,234	145,673	154,968	169,378	+9.3%	—	—
純資産	111,706	118,201	129,099	137,821	+6.8%	—	—

## 2014年3月期 連結業績(実績)

【売上高】 主力製品(国内)の伸長、新製品の発売(ペンタサ坐剤、フルティフォーム)、導出品のロイヤリティ収入の増加及びキョーリン製薬グループ工場(株)の売上の年間寄与により新医薬品事業の売上は前年度を上回る実績となりました。また、後発医薬品事業の売上も前年を上回り、売上高は1,114億(前年比4.1%増)と増収になりました。

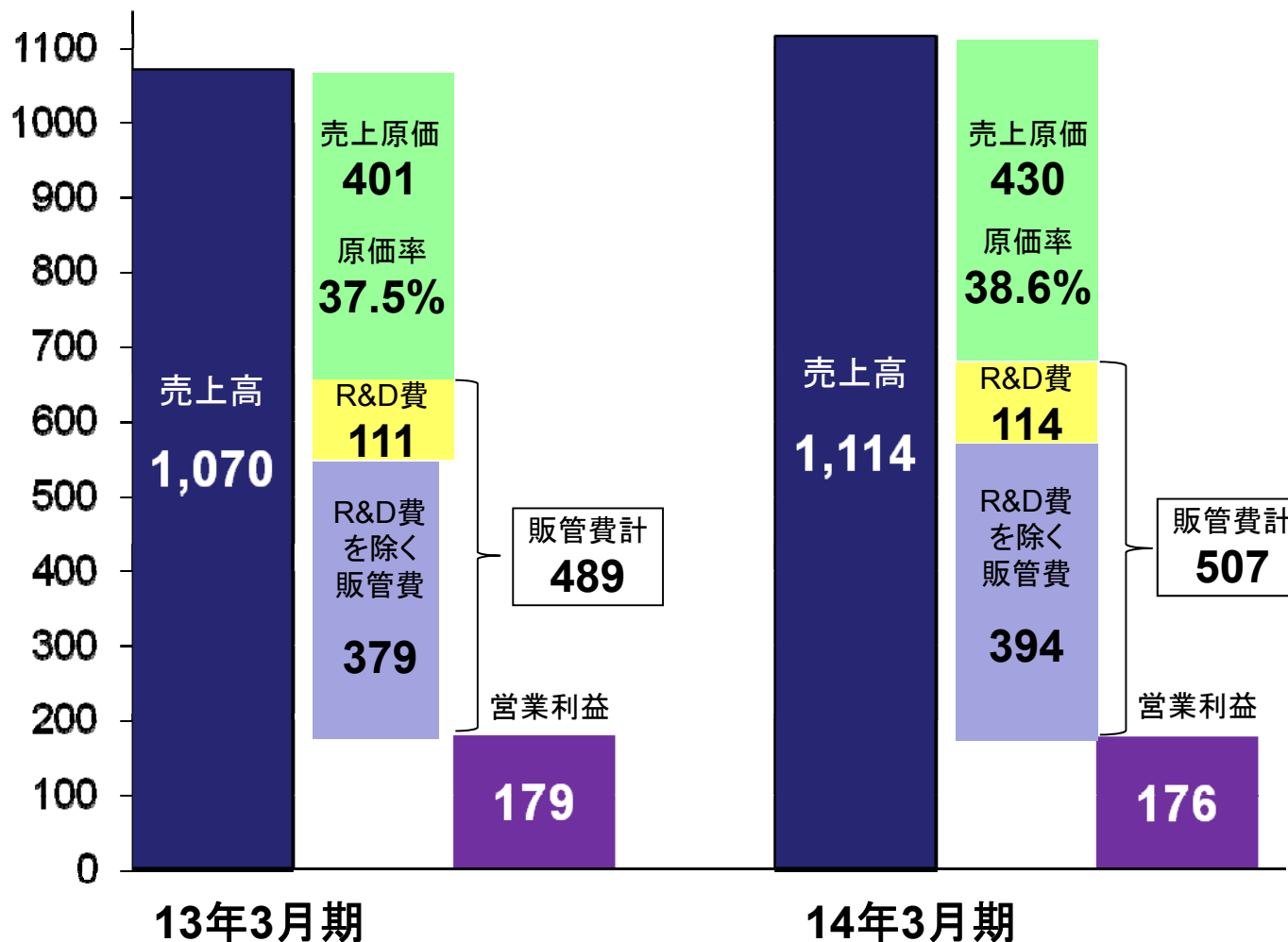
【利益】 売上原価率は前年に対して上昇したものの、増収により売上総利益は増加しました。他方、販売費及び一般管理費(研究開発費含む)が前年に対し増加したため、営業利益は176億円(前年比1.9%減)となりました。また、当期純利益は120億円(前年比3.2%減)となりました。

## 2015年3月期 連結業績(予想)

【売上高・利益】 売上高は2013年に発売した新製品「フルティフォーム」の売上伸長、後発品の売上増加により、増収となる見通しです。利益は売上原価率の上昇による売上総利益の減少、パイプライン進展による研究開発費の増加により減益となる見通しです。その結果、売上高は1,122億円(前年比0.7%増)、営業利益は158億円(前年比10.3%減)、当期純利益は113億円(前年比6.0%減)を見込みます。

# 2014年3月期 業績のポイント(対前年)

(単位:億円)



## ポイント①

- 売上高は44億円増加
  - ・国内新医薬品、後発医薬品が伸長
  - ・導出品のロイヤリティ収入の増加
  - ・キョーリン製薬グループ工場の売上寄与

## ポイント②

- 売上原価率は1.1ポイント上昇(29億円増加)

➢売上総利益は15億円増加

## ポイント③

- 販管費は18億円増加
  - ・R&D費は3億円増加
  - ・販管費(除くR&D費)は15億円増加

営業利益は3億円減少

# 2014年3月期 業績の状況

(単位:億円)

	13年3月期 (実績)	14年3月期 (実績)	対前年
売上高	1,070	1,114	+44
医薬品事業	1,052	1,097	+45
◆新医薬品	907	935	+28
○国内	883	917	+34
○海外	24	18	-6
◆後発医薬品	101	120	+19
◆一般用医薬品他	44	42	-2
ヘルスケア事業 (スキンケア)	19	17	-2
営業利益	179	176	-3
経常利益	187	183	-4
当期純利益	124	120	-4

		(対前年)	(対予想)																														
■売上高	1,114億円	(+ 44)	(- 12)																														
◆医薬品事業	1,097億円	(+ 45)	(- 12)																														
●国内新医薬品	917億円	(+ 34)	(- 11)																														
	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>13.3 実績</td> <td>⇒</td> <td>14.3 実績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・キプレス</td> <td>396</td> <td>⇒</td> <td>402</td> <td>(+ 6)</td> <td>(- 1)</td> </tr> <tr> <td>・ムコダイン</td> <td>191</td> <td>⇒</td> <td>184</td> <td>(- 7)</td> <td>(- 4)</td> </tr> <tr> <td>・ペンタサ</td> <td>176</td> <td>⇒</td> <td>186</td> <td>(+10)</td> <td>(+ 1)</td> </tr> <tr> <td>・ウリトス</td> <td>75</td> <td>⇒</td> <td>81</td> <td>(+ 6)</td> <td>(+ 1)</td> </tr> </table>		13.3 実績	⇒	14.3 実績			・キプレス	396	⇒	402	(+ 6)	(- 1)	・ムコダイン	191	⇒	184	(- 7)	(- 4)	・ペンタサ	176	⇒	186	(+10)	(+ 1)	・ウリトス	75	⇒	81	(+ 6)	(+ 1)		
	13.3 実績	⇒	14.3 実績																														
・キプレス	396	⇒	402	(+ 6)	(- 1)																												
・ムコダイン	191	⇒	184	(- 7)	(- 4)																												
・ペンタサ	176	⇒	186	(+10)	(+ 1)																												
・ウリトス	75	⇒	81	(+ 6)	(+ 1)																												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新製品の発売(ペンタサ坐剤、フルティフォーム)</li> <li>・ロイヤリティ収入(アイファガン)の増加</li> <li>・キョーリン製薬グループ工場の売上が年間寄与</li> </ul>																																
●海外新医薬品	18億円	(- 6)	(- 5)																														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガチフロキサシン 16 ⇒ 15</li> </ul>	(- 1)	(- 3)																														
●後発医薬品	120億円	(+ 19)	(+ 6)																														
	他社受託ビジネスの売上拡大及び卸店ルート(保険調剤薬局)の売上増加																																
●一般用医薬品他	42億円	(- 2)	(- 1)																														
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	17億円	(- 2)	( 0)																														
■営業利益	176億円	(- 3)	(- 6)																														
◆営業利益率は15.8%と前年比1.0ポイント低下																																	
●原価率：前年比1.1ポイント上昇 (37.5%⇒38.6%)																																	
	【上昇要因】後発医薬品及びキョーリン製薬グループ工場の売上増加による影響、為替の影響																																
	【低下要因】ロイヤリティ収入(アイファガン)の増加等																																
●研究開発費率：前年比0.1ポイント低下 (10.3%⇒10.2%)																																	
	* 3億円増加(111億円⇒114億円)																																
	開発パイプラインの進展(主にKRP-209Ph2aの終了等)																																
●販管費率(除くR&D費)：前年比 横ばい (35.4%⇒35.4%)																																	
	* 15億円増加(379億円⇒394億円) 販売費、特許等使用料等の増加																																
■当期純利益	120億円	(- 4)	(- 4)																														

## ■配当

52円00銭/株(うち、中間配当10円/株)、配当性向32.3%

# 2014年3月期 主要製品売上の状況

(単位:億円)

		10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期		15年3月期 (予想)
						実績	前同比(%)	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	292	345	368	396	402	+1.5	403
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	209	213	215	191	184	-4.0	160
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	194	194	180	176	186	+5.3	175
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	37	55	63	75	81	+7.9	82
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	46	40	34	30	28	-6.0	25
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	—	—	—	6	—	28
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	22	22	17	16	15	-7.5	5
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	19	19	19	20	21	+0.5	20

# 主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	2013年3月期	2014年3月期
売上高	959	977
営業利益	171	154
当期純利益	119	108

2015年3月期(予想)
985
143
104

キョーリン リメディオ	2013年3月期	2014年3月期
売上高	104	124
営業利益	4	10
当期純利益	5	6

2015年3月期(予想)
132
7
5

ドクタープログラム	2013年3月期	2014年3月期
売上高	19	18
営業利益	-2	2
当期純利益	-3	2

2015年3月期(予想)
17
0
0

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結) *Kyorin*

健康はキョーリンの願いです。

(単位:百万円)

	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期		15年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	11,807	12,495	13,964	11,059	11,359	+2.7%	12,500
設備投資	1,291	1,668	1,952	6,576	6,500	-1.1%	3,000
減価償却費	2,810	2,458	2,363	2,738	3,153	+15.2%	3,100

## 設備投資の詳細 (実績/予想)

(単位:億円)

	13年3月期 (実績)	14年3月期 (実績)	15年3月期 (予想)
工場設備	46	19	16
管理・販売設備	14	7	7
研究用設備	5	39	7

# 開発品一覧①(2014年5月9日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2014年3月期 第3四半期 2月4日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※申請 (14年3月)	(欧州) アルミラール社 : 上市(12年9月) (アメリカ) フォレスト社 : 上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年4月)		キプレス (チュアブル錠、 細粒)	気管支喘息治療剤	米国 メルク社	小児: アレルギー性鼻炎	新効能・効果 MSD(株)との共同開発
PhⅢ (13年8月)	(欧州) アルミラール社 : 申請(13年10月) (アメリカ) フォレスト社: 申請準備中	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)



# 開発品一覧②(2014年5月9日現在)

## POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2014年3月期 第三四半期 2月4日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (11年8月)	Ph III ムツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ ムツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	ムツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ハルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ハルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II (13年9月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		
Ph I (13年10月)		KRP-EPA605	過活動膀胱治療剤	自社	プロスタグランジンEP1受容体拮抗作用を有し、膀胱の排尿筋過活動を抑制することにより頻尿の改善が期待される	キッセイ薬品工業(株)との共同開発

※医療上の必要性の高い未承認薬・適外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」(対象疾病:間質性膀胱炎)について開発を進める予定

- 潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ坐剤1g」: 2013年6月発売
- 過活動膀胱治療剤「ウリトス」: 2013年7月韓国で発売(鐘根堂)
- 喘息治療配合剤「フルティフォーム」: 2013年11月発売

# 参考資料

# 2014年3月期 セグメント情報

## 報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	1,114	+44	176	-3
医薬品事業計	1,097	+45	170	-10
◆新医薬品	935	+28		
○国内	917	+34		
○海外	18	-6		
◆後発医薬品	120	+19		
◆一般用医薬品他	42	-2		
ヘルスケア事業計	17	-2	2	+4
調整額	-	-	5	+3

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

# 損益計算書の概要：連結①

(単位：百万円)

	13年3月期		14年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	107,031	100.0%	<b>111,400</b>	100.0%	+4.1%	+4,368
医薬品事業	105,162	98.3%	<b>109,678</b>	98.5%	+4.3%	+4,515
◆新医薬品	90,686	84.7%	<b>93,518</b>	83.9%	+3.1%	+2,831
○国内	88,286	82.5%	<b>91,668</b>	82.3%	+3.8%	+3,382
○海外	2,400	2.2%	<b>1,849</b>	1.7%	-22.9%	-550
◆後発医薬品	10,095	9.4%	<b>11,987</b>	10.8%	+18.7%	+1,891
◆一般用医薬品他	4,379	4.1%	<b>4,172</b>	3.7%	-4.7%	-207
ヘルスケア事業	1,869	1.7%	<b>1,721</b>	1.5%	-7.9%	-147

## <適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬株  
Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH  
ActivX Biosciences, Inc.  
キョーリン リメディオ(株)  
キョーリン メディカルサプライ(株)  
ドクタープログラム(株)  
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

対前年

■ 売上高 111,400百万円 (+4,368百万円)

●国内新医薬品 91,668百万円 (+3,382百万円)

	13.3実績	⇒	14.3実績	(億円)
・キプレス	396	⇒	402	(+ 6)
・ムコダイン	191	⇒	184	(- 7)
・ペンタサ	176	⇒	186	(+10)
・ウリトス	75	⇒	81	(+ 6)

- ・新製品の発売(ペンタサ坐剤、フルティフォーム)、
- ・ロイヤリティ収入(アイファガン)の増加、
- ・キョーリン製薬グループ工場の売上が年間寄与

●海外新医薬品 1,849百万円 (-550百万円)

・ガチフロキサシン 16 ⇒ 15 (- 1)

●後発医薬品 11,987百万円 (+1,891百万円)

- \* 他社受託ビジネスの売上拡大、使用促進策の影響による卸店ルート(保険調剤薬局)の売上増加

●一般用医薬品等 4,172百万円 (-207百万円)

- \* ルビスタの売上は伸長したものの、その他の売上が減少

●ヘルスケア 1,721百万円 (-147百万円)

- \* 販路を通信販売に集中したため売上が減少

# 損益計算書の概要：連結一②

(単位:百万円)

	13年3月期		14年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	107,031	100.0%	111,400	100.0%	+4.1%	+4,368
売上原価	40,133	37.5%	43,047	38.6%	+7.3%	+2,913
売上総利益	66,897	62.5%	68,352	61.4%	+2.2%	+1,454
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	48,949 (11,059)	45.7% 10.3%	50,744 (11,359)	45.6% 10.2%	+3.7% +2.7%	+1,795 +300
営業利益	17,948	16.8%	17,607	15.8%	-1.9%	-340
営業外収益	790	0.7%	732	0.7%	-7.3%	-57
営業外費用	62	0.1%	59	0.1%	-3.9%	-2
経常利益	18,676	17.4%	18,281	16.4%	-2.1%	-395
特別利益	25	0.0%	237	0.2%	+829.3%	+211
特別損失	98	0.1%	205	0.2%	+108.0%	+106
税金等調整前 当期純利益	18,603	17.4%	18,312	16.4%	-1.6%	-290
法人税・住民税 及び事業税	5,869	5.5%	5,095	4.6%	-13.2%	-773
法人税等調整額	312	0.3%	1,191	1.1%	+281.6%	+879
当期純利益	12,422	11.6%	12,025	10.8%	-3.2%	-396

## <当期のポイント>

◆原価率：前年比1.1ポイント上昇  
(37.5%→38.6%)

【上昇要因】後発医薬品およびキョーリン製薬グループ工場の  
売上増加による影響、為替の影響  
【低下要因】ロイヤリティ収入(アイファガン)の増加等

◆研究開発費率：前年比0.1ポイント低下  
(10.3%→10.2%)

\* 111億円→114億円(3億円増加)  
開発パイプラインの進展(主にKRP-209Ph2a等)

◆販管費率(除くR&D費)：前年比 横ばい  
(35.4%→35.4%)

\* 379億円→394億円(15億円増加)  
販売費、特許等使用量等の増加

■営業利益 17,607百万円 (-340百万円)

\* 営業利益率は15.8%と1.0ポイント低下

■当期純利益 12,025百万円 (-396百万円)

### ■配当

52円00銭/株(うち、中間配当10円/株)

配当性向32.3%

# 貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	13年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	108,265	69.9%
現金及び預金	21,370	—
受取手形及び売掛金	46,555	
有価証券	11,667	
棚卸資産	19,938	
その他流動資産	8,733	
<b>固定資産</b>	46,702	30.1%
有形固定資産	18,209	—
無形固定資産	916	
投資その他	27,577	
<b>資産合計</b>	154,968	100.0%

<b>流動負債</b>	22,897	14.8%
支払手形及び買掛金	8,556	—
その他流動負債	14,341	
<b>固定負債</b>	2,970	1.9%
<b>負債合計</b>	25,868	16.7%
<b>株主資本</b>	126,985	81.9%
<b>その他の包括利益累計額</b>	2,113	1.4%
その他有価証券評価差額金	2,293	—
為替換算調整勘定	-180	
<b>純資産合計</b>	129,099	83.3%
<b>負債及び純資産合計</b>	154,968	100.0%

14年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>121,638</b>	<b>71.8%</b>	<b>+13,373</b>
31,017	—	—
44,123		
17,965		
21,699		
6,833		
<b>47,740</b>	<b>28.2%</b>	<b>+1,037</b>
20,841	—	—
1,198		
25,700		
<b>169,378</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,410</b>

<b>28,401</b>	<b>16.8%</b>	<b>+5,503</b>
11,056	—	—
17,344		
<b>3,155</b>	<b>1.9%</b>	<b>+185</b>
<b>31,557</b>	<b>18.6%</b>	<b>+5,688</b>
<b>135,273</b>	<b>79.9%</b>	<b>+8,287</b>
<b>2,548</b>	<b>1.5%</b>	<b>+434</b>
3,434	—	—
12		
<b>137,821</b>	<b>81.4%</b>	<b>+8,722</b>
<b>169,378</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,410</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産：+13,373百万円

- ・現金及び預金の増加 (+9,646百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-2,432百万円)
- ・有価証券の増加 (+6,297百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+1,761百万円)

### ■ 固定資産：+1,037百万円

- ・有形固定資産の増加 (+2,632百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+281百万円)
- ・投資その他の減少 (-1,876百万円)

### ■ 流動負債：+5,503百万円

- ・支払手形及び買掛金の増加 (+2,499百万円)
- ・その他流動負債の増加 (+3,003百万円)

### ■ 固定負債：+185百万円

# 主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	99,764 (2,693)	104,069 (2,784)	103,232 (2,015)	107,031 (2,400)	111,400 (1,849)	112,200 (1,000)
売上原価 (売上原価率)%	37,477 (37.6%)	37,554 (36.1%)	36,926 (35.8%)	40,133 (37.5%)	43,047 (38.6%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	49,025 (49.1%)	50,071 (48.1%)	51,842 (50.2%)	48,949 (45.7%)	50,744 (45.6%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	11,807 (11.8%)	12,495 (12.0%)	13,964 (13.5%)	11,059 (10.3%)	11,359 (10.2%)	12,500 (11.1%)
営業利益 (営業利益率)%	13,261 (13.3%)	16,443 (15.8%)	14,464 (14.0%)	17,948 (16.8%)	17,607 (15.8%)	15,800 (14.1%)
経常利益 (経常利益率)%	14,234 (14.3%)	17,110 (16.4%)	15,275 (14.8%)	18,676 (17.4%)	18,281 (16.4%)	16,300 (14.5%)
当期純利益 (当期純利益率)%	8,848 (8.9%)	10,927 (10.5%)	9,231 (8.9%)	12,422 (11.6%)	12,025 (10.8%)	11,300 (10.1%)
一株当たり当期利益(円)	118.37円	146.21円	123.54円	166.25円	160.95円	151.24円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	137,190	147,234	145,673	154,968	169,378	—
株主資本	104,907	112,076	117,931	126,985	135,273	—
純資産	104,911	111,706	118,201	129,099	137,821	—
一株当たり純資産(円)	1,403.60円	1,494.83円	1,581.94円	1,727.86円	1,844.61円	—
自己資本利益率%	8.8%	10.1%	8.0%	10.0%	9.0%	—
自己資本比率%	76.5%	75.9%	81.1%	83.3%	81.4%	—
人員(人)	2,246人	2,294人	2,297人	2,444人	2,452人	—
設備投資	1,291	1,668	1,952	6,576	6,500	3,000
減価償却費	2,810	2,458	2,363	2,738	3,153	3,100

# 2014年3月期実績と2015年3月期予想

(単位:百万円)

	13年3月期 (実績)	14年3月期 (実績)	15年3月期 (予想)	対前年	
				増減額	増減率(%)
売上高	107,031	111,400	<b>112,200</b>	+799	+0.7
医薬品事業	105,162	109,678	<b>110,500</b>	+821	+0.7
◆新医薬品	90,686	93,518	<b>93,100</b>	-418	-0.4
○国内	88,286	91,668	<b>92,100</b>	+431	+0.5
○海外	2,400	1,849	<b>1,000</b>	-849	-45.9
◆後発医薬品	10,095	11,987	<b>12,700</b>	+712	+5.9
◆一般用医薬品他	4,379	4,172	<b>4,600</b>	+427	+10.2
ヘルスケア事業 (スキンケア)	1,869	1,721	<b>1,700</b>	-21	-1.3
営業利益	17,948	17,607	<b>15,800</b>	-1,807	-10.3
経常利益	18,676	18,281	<b>16,300</b>	-1,981	-10.8
当期純利益	12,422	12,025	<b>11,300</b>	-725	-6.0



# 損益計算書の概要：杏林製薬一①

(単位:百万円)

	13年3月期		14年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	95,894	100.0%	97,662	100.0%	+1.8%	+1,768
医薬品事業	95,894	100.0%	97,662	100.0%	+1.8%	+1,768
◆新医薬品	88,975	92.8%	89,846	92.0%	+1.0%	+871
○国内	86,698	90.4%	88,196	90.3%	+1.7%	+1,497
○海外	2,277	2.4%	1,650	1.7%	-27.5%	-626
◆後発医薬品	4,116	4.3%	4,821	4.9%	+17.1%	+705
◆一般用医薬品他	2,802	2.9%	2,994	3.1%	+6.8%	+191

## <当期のポイント>

対前年

- 売上高 97,662百万円 (+1,768百万円)
- 国内新医薬品 88,196百万円 (+1,497百万円)
  - 13.3実績 14.3実績 (億円)
  - ・キプレス 396 ⇒ 402 (+6)
  - ・ムコダイン 191 ⇒ 184 (-7)
  - ・ペンタサ 176 ⇒ 186 (+10)
  - ・ウリトス 75 ⇒ 81 (+6)
- 海外新医薬品 1,650百万円 (-626百万円)
  - ・ガチフロキサシン 16 ⇒ 15 (-1)
- 後発医薬品 4,821百万円 (+705百万円)
  - ・主にキョーリンリメディオ製品の売上増
- 一般用医薬品他 2,994百万円 (+191百万円)
  - ・ミルトン 20 ⇒ 21 (+1)

# 損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	13年3月期		14年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	95,894	100.0%	<b>97,662</b>	100.0%	+1.8%	<b>+1,768</b>
売上原価	33,868	35.3%	<b>35,119</b>	36.0%	+3.7%	<b>+1,250</b>
売上総利益	62,025	64.7%	<b>62,543</b>	64.0%	+0.8%	<b>+517</b>
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	44,898 (10,733)	46.8% (11.2%)	<b>47,175</b> <b>(11,064)</b>	48.3% (11.3%)	+5.1% +3.1%	<b>+2,276</b> <b>+330</b>
営業利益	17,127	17.9%	<b>15,368</b>	15.7%	-10.3%	<b>-1,758</b>
営業外収益	1,100	1.1%	<b>909</b>	0.9%	-17.4%	<b>-191</b>
営業外費用	19	0.0%	<b>46</b>	0.0%	+144.9%	<b>+27</b>
経常利益	18,209	19.0%	<b>16,230</b>	16.6%	-10.9%	<b>-1,978</b>
特別利益	25	0.0%	<b>235</b>	0.2%	+833.7%	<b>+210</b>
特別損失	81	0.1%	<b>52</b>	0.1%	-36.3%	<b>-29</b>
税引前当期純利益	18,152	18.9%	<b>16,414</b>	16.8%	-9.6%	<b>-1,738</b>
法人税・住民税 及び事業税	5,635	5.9%	<b>4,496</b>	4.6%	-20.2%	<b>-1,139</b>
法人税等調整額	585	0.6%	<b>1,094</b>	1.1%	+86.9%	<b>+509</b>
当期純利益	11,931	12.4%	<b>10,823</b>	11.1%	-9.3%	<b>-1,107</b>

## <当期のポイント>

- ◆原価率：前年比0.7ポイント上昇  
(35.3%→36.0%)  
【上昇要因】後発医薬品の売上増加による影響、為替の影響  
【低下要因】ロイヤリティ収入(アイファガン)の増加
- ◆研究開発費率：前年比0.1ポイント上昇  
(11.2%→11.3%)  
\* 107億円→111億円(4億円増加)  
開発パイプラインの進展(主にKRP-209Ph2a等)
- ◆販管費率(除くR&D費)：前年比1.4ポイント上昇  
(35.6%→37.0%)
- 営業利益 15,368百万円(-1,758百万円)  
\* 営業利益率は15.7%と2.2ポイント低下
- 当期純利益 10,823百万円(-1,107百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	13年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	84,041	69.0%
現金及び預金	7,192	
売掛金	43,320	
有価証券	11,604	—
棚卸資産	16,615	
その他流動資産	5,308	
<b>固定資産</b>	37,840	31.0%
有形固定資産	11,340	
無形固定資産	284	—
投資その他	26,215	
<b>資産合計</b>	121,881	100.0%

14年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>92,209</b>	<b>70.4%</b>	<b>+8,167</b>
<b>15,098</b>		
<b>40,133</b>		
<b>14,302</b>	—	—
<b>17,969</b>		
<b>4,705</b>		
<b>38,788</b>	<b>29.6%</b>	<b>+948</b>
<b>13,992</b>		
<b>385</b>	—	—
<b>24,410</b>		
<b>130,997</b>	<b>100.0%</b>	<b>+9,115</b>

<b>流動負債</b>	16,880	13.9%
支払手形及び買掛金	5,445	
その他流動負債	11,435	—
<b>固定負債</b>	2,156	1.8%
<b>負債合計</b>	19,037	15.6%
<b>株主資本</b>	100,586	82.5%
<b>評価・換算差額等</b>	2,257	1.9%
<b>純資産合計</b>	102,844	84.4%
<b>負債及び純資産合計</b>	121,881	100.0%

<b>20,446</b>	<b>15.6%</b>	<b>+3,566</b>
<b>7,473</b>		
<b>12,973</b>	—	—
<b>944</b>	<b>0.7%</b>	<b>-1,212</b>
<b>21,391</b>	<b>16.3%</b>	<b>+2,353</b>
<b>106,211</b>	<b>81.1%</b>	<b>+5,625</b>
<b>3,394</b>	<b>2.6%</b>	<b>+1,136</b>
<b>109,606</b>	<b>83.7%</b>	<b>+6,761</b>
<b>130,997</b>	<b>100.0%</b>	<b>+9,115</b>

## <当期のポイント>

### ■流動資産： +8,167百万円

- ・現金及び預金の増加 ( +7,905百万円)
- ・売掛金の減少 ( -3,186百万円)
- ・有価証券の増加 ( +2,697百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +1,354百万円)

### ■固定資産： +948百万円

- ・有形固定資産の増加 ( +2,651百万円)
- ・無形固定資産の増加 ( +101百万円)
- ・投資その他の減少 ( -1,804百万円)

### ■流動負債： +3,566百万円

- ・支払手形及び買掛金の増加 ( +2,027百万円)
- ・その他流動負債の増加 ( +1,538百万円)

### ■固定負債： -1,212百万円

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位:百万円)	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	85,308 (2,563)	92,531 (2,642)	93,697 (1,904)	95,894 (2,277)	97,662 (1,650)	98,500 (800)
売上原価 (売上原価率)%	28,374 (33.3%)	31,227 (33.7%)	32,046 (34.2%)	33,868 (35.3%)	35,119 (36.0%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	43,795 (51.3%)	45,658 (49.3%)	47,679 (50.9%)	44,898 (46.8%)	47,175 (48.3%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	11,121 (13.0%)	11,867 (12.8%)	13,472 (14.4%)	10,733 (11.2%)	11,064 (11.3%)	11,800 (12.0%)
営業利益 (営業利益率)%	13,139 (15.4%)	15,645 (16.9%)	13,971 (14.9%)	17,127 (17.9%)	15,368 (15.7%)	14,300 (14.5%)
経常利益 (経常利益率)%	14,580 (17.1%)	16,729 (18.1%)	15,126 (16.1%)	18,209 (19.0%)	16,230 (16.6%)	14,900 (15.1%)
当期純利益 (当期純利益率)%	9,472 (11.1%)	10,732 (11.6%)	9,274 (9.9%)	11,931 (12.4%)	10,823 (11.1%)	10,400 (10.6%)
一株当たり当期利益(円)	127.54円	144.51円	124.88円	160.66円	145.74円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	119,822	122,661	121,985	121,881	130,997	—
株主資本	95,384	95,719	101,652	100,586	106,211	—
純資産	95,505	95,573	102,177	102,844	109,606	—
一株当たり純資産(円)	1,285.95円	1,286.87円	1,375.79円	1,384.77円	1,475.82円	—
自己資本利益率%	10.3%	11.2%	9.4%	11.6%	10.2%	—
自己資本比率%	79.7%	77.9%	83.8%	84.4%	83.7%	—
人員(人)	1,724人	1,804人	1,798人	1,797人	1,780人	—
設備投資	1,051	1,019	1,425	1,507	4,763	1,500
減価償却費	2,198	1,968	1,790	1,743	1,743	1,800